



# 千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.10.8 No. 3290

## 第17回定期大会

(才一日目)

# 盛大に開催 村休国民山館

# 五ヶ月間の救済を叩いた

# 自信と確信みな持っている

## 多数の来賓、メッセージ寄せられる

第十七回定期大会は、折からの台風の接近の影響で悪天候にもかかわらず「国民休暇村」の会場は定刻の十三時には代議員・傍聴者、来賓でうずめられた。

と確信を感じるものがあがり活気ある大会第一日目としてかちとられた。まず、議長団には、地元準備支部の館山支部・赤羽根代議員と津田沼支部荏司代議員が選出され、議事が手際よくテキパキとすすめられた。

反動をうち破ってこそ我々の未来が切り開かれる」と確信をもって提起し、全参加者が新ためて自らの闘いに確信を深めた。大会には、遠路駆けつけた多くの来賓からの心のこもった挨拶をうけた。広田県労連センター事務局長、小川・小川国彦衆院議員秘書、葉山動力千葉顧問弁護団長、辻川動力水戸委員長、顧問の

中江昌夫船橋市議、北原三里塚反対同盟事務局長など、来賓各位の一言一言に参加者は耳をとぎすまして聞き入っていた。又、市議会開催中で出席出来なかつた地元安房地区労辻田議長、佐藤芳夫全国交流センター代表運営委員をはじめ、全国の闘う仲間からの熱いメッセージ、祝電が多数寄せられ紹介された。

## 夜明け前が最も暗い

## 中野委員長、力強く決意のべる

委員長あいさつにたった中野委員長は、まずこの間の事業団闘争を全力で闘いぬいてきた組合員に心から敬意を表したあと、一段と力をこめ今日のJRをとりまく情勢を展開したあと、JR体制

のデタラメ性と危機的状況を鮮明に暴露した。特にJR総連革マル解体の闘いの重要性を強調し全体が確認した。最後に「夜明け前が最も暗いといわれている。今のJRがそうかもしれない。この

## 争議団の力強い決意に込め、真剣な討論

不当解雇への怒りを胸に、不屈に闘いぬいていく争議団から、大会に参加している全員が胸が熱くなるような決意をのべた。

執行部による経過報告ののち、五名の代議員が次々と発言にたち、一日目の時間いっぱいまで質疑応答が展開された。